

「しずおか中部連携中枢都市圏ビジョン」登録事業

するが文化の散歩道 スタンプラリー

2021



撮影：相田昭



静

岡県中部には、日本近代史に名を残した文化人を顕彰する施設があります。静岡市、焼津市、藤枝市にある各施設を巡るスタンプラリーを通して、彼らの作品やそれらを育んだ風土を体感し、静岡の魅力を再発見してみませんか。

期間

2021年10月9日(土) ~ 12月12日(日)

会場

中勘助文学記念館
静岡市立芹沢銈介美術館 *要入館料
焼津小泉八雲記念館
藤枝市郷土博物館・文学館 *要入館料

スタンプはこちらへ

期間中

集めたスタンプ数に応じて

ノベルティ
プレゼント

期間中、集めたスタンプ数に
応じてノベルティをプレゼント!

2個のスタンプを集めた方
しずぶんツアーロゴ缶バッジ

4個のすべてのスタンプを集めた方
オリジナルバッグ

Wチャンス!
4個のスタンプを集めた方の中から抽選で30名様に
各館オリジナルグッズの詰め合わせもプレゼント♪

[スタンプラリーのルール] ※必ずご一読ください。

- 対象施設に行き、展示物をご覧いただくとスタンプを押すことができます。会場に行くだけではスタンプを押すことができません。入館料が必要な施設もあります。
- スタンプを押すことができるのは、来館したご本人のみです。
- 施設ごとスタンプが異なります。同じスタンプを2個以上集めても1個分にしかカウントされません。
- 各館を回る順番は自由です。
- プレゼントの交換はひとり1回までです。
- プレゼントの置き置き等は行っておりません。Wチャンス当選プレゼント以外の発送は行っておりません。
- 缶バッジ、オリジナルバッグは各館で引き換えができます。(2021年12月12日まで *来館した本人のみ)
- プレゼントは無くなり次第終了とさせていただきますので、あらかじめご了承下さい。

チェック欄

2館目

缶バッジ

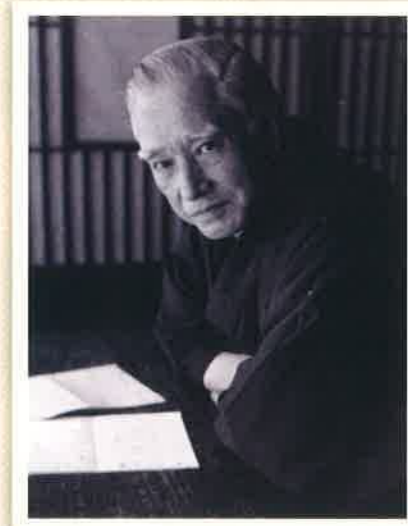
4館目

オリジナル
バッグ



するが文化の散歩道スタンプラリー 2021

彼らが生きた明治、大正、昭和の時代に思いをはせながら、静岡の魅力を見つめよう。



なか かんすけ 中 勘助 1885 (明治 18) 年 - 1965 (昭和 40) 年

自身の子どもの頃を綴った『銀の匙』で有名な中勘助は日本の近代文学を代表する作家です。岐阜の今尾藩士だった中家の五男として東京で生まれ育ち、第一高等学校、東京帝国大学で夏目漱石に学びます。1943 (昭和 18) 年 10 月から 1948 (昭和 23) 年 4 月までの約 4 年半、転地静養のために東京を離れて夫妻で静岡市郊外 (旧安倍郡服織村新聞) に移住しました。帰京後の 1957 (昭和 32) 年には静岡市立服織中学校の校歌を作詞するなど、静岡との縁は永く続いています。

代表作 銀の匙 1926 (大正 15) 年 岩波書店
東京朝日新聞に連載された中勘助の自伝的小説。装丁意匠は中勘助が原案を考え、兄嫁の末子が下絵を描いた。



クイズ

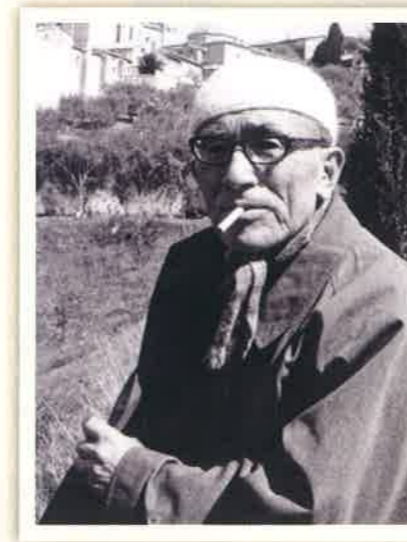
記念館の展示室には「銀の匙」の実物が展示されています！これは何に使うための匙？大きさはどれくらい？

中勘助文学記念館の見どころ

「杓子庵」の畳にはヘリが無い！
中さんが薬科川を眺めながら文筆生活を送った「杓子庵」。庵の様子を外からのぞいてみよう。

関連イベントスケジュール

●杓子庵 文芸サロン
～中さんの愛した羽鳥で俳句を詠む～ ※要事前申込
2021年11月5日(金)～11月27日(土) (全4回)
中勘助文学記念館にて、初心者を対象に中勘助の愛した杓子庵や羽鳥地域の自然などを体験しながら俳句を詠む全4回講座。詳細は(公財)静岡市文化振興財団HPへ <https://www.scpf.shizuoka-city.or.jp/>



せりざわ けいすけ 芹沢 銑介 1895 (明治 28) 年 - 1984 (昭和 59) 年

芹沢銑介は、1895 (明治 28) 年に静岡市葵区本通に生まれました。東京高等工業学校 (現・東京工業大学) 工業図案科卒業後、生涯の師である柳宗悦と、沖縄の染物・紅型に出会ったことを契機に、型染を中心とした染色の道を歩み始めます。芹沢には色彩と模様に対する天与の才能があり、従来の染色の枠組みにとらわれない、新鮮で創意あふれる作品を次々と制作しました。芹沢は非常に多作で、また染色にとどまらない幅広い仕事をしましたが、生涯を通じて明快かつ温かな作風を貫いており、多くの人々に愛好されました。

代表作 「伸びゆく静岡」 1969 (昭和 44) 年
旧静岡市の市制 80 周年を記念して制作された作品。富士山を中心に安倍川、駿河湾など静岡のモチーフが盛り込まれている。



クイズ

芹沢銑介美術館は石や木、水といった天然素材で構成されています。そんな芹沢銑介美術館の別名を何と言う？

静岡市立芹沢銑介美術館の見どころ

芹沢銑介美術館は、本館の建物自体が美術品。
展示室ごとに異なる「天井」にもご注目！日曜日と祝日には、「芹沢銑介の家」が公開されています。

関連イベントスケジュール

●静岡市立芹沢銑介美術館
開館40周年記念展 ～秋編～ 芹沢銑介の日本
2021年10月9日(土)～12月12日(日) 9:00～16:30
日本各地を旅し、自然や風景を型染で表現した芹沢。懐かしも新しい「芹沢銑介の日本」をご覧ください。

こいずみ やくも 小泉 八雲 1850 (嘉永 3) 年 - 1904 (明治 37) 年



『怪談』の作者としても知られる小泉八雲 (ラフカディオ・ハーン) はギリシャに生まれ、渡米を経て、明治時代に来日。晩年、避暑地としてたびたび焼津の地を訪れ、家族とともに海水浴を楽しみました。八雲は焼津の海と人情を愛し、この地を舞台とした随筆「焼津にて」「乙吉のだるま」などの作品を書いています。八雲の幽霊譚「漂流」もこの地で聞いた話をもとに書かれた作品で、記念館には作品に出てくる「板子」の実物も展示されています。焼津市内には八雲文学散歩コースも整備され、記念碑や作品ゆかりの地を巡ることができます。

代表作 Kwaidan『怪談』 1904 (明治 37) 年
「耳なし芳一」や「雪おんな」など八雲の代表作といえる怪談が収録された晩年の傑作。日本の古い物語に八雲独自の西洋的思想が融合された幽玄の世界が繰り広げられる。



クイズ

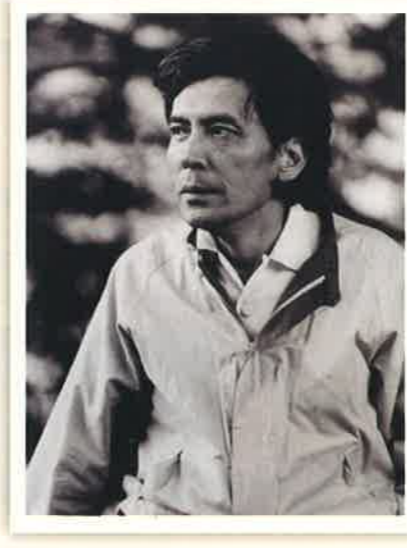
八雲は避暑地の焼津からセツ夫人に多くの手紙を書きました。八雲は奥さんのことを手紙でなんと呼んでいましたか。「セツさん」……いやいや。

焼津小泉八雲記念館の見どころ

必見！甚助の命を救った「漂流」の板子
焼津から妻セツに宛てたカタカナの手紙を読んでほっこり。

関連イベントスケジュール

●第27回企画展示会
小泉八雲とウィリアム・B・イェイツ
～幻想がつかぬ日本とアイルランド～
2021年10月9日(土)～2022年1月18日(火)
八雲と同時代を生きたアイルランドの詩人ウィリアム・B・イェイツとの交流を通して二人の共通点を探ります。



おがわ くにょ 小川 国夫 1927 (昭和 2) 年 - 2008 (平成 20) 年

藤枝で生まれ育った小川国夫は、自らを「枝っ子」と称する郷土愛の持ち主でした。若き日にフランスに留学し、地中海沿岸をバイクで旅をした体験をもとに、代表作『アポロンの島』を執筆し作家として注目を浴びることになりました。小川国夫の小説は、聖書と欧州体験を題材とした作品をのぞき、そのほとんどが藤枝、焼津、大井川河口域など、郷土である駿河湾西岸を舞台としています。文学館は、小川の散歩コースでもあった蓮華寺池のほとりに建ち、2階のテラスからは作品に登場する藪田富士などを見ることができます。

代表作 アポロンの島 1957 (昭和 32) 年 青銅時代社
地中海の溢れる光の中で、ひとり単車で旅する青年が会おう人々や風景を描いた、青春の書というべき一冊。



クイズ

小川国夫が20歳のときに初めて書いた小説は、「銀河」という小品集をもとにしています。さて、誰の作品でしょうか。

藤枝市郷土博物館・文学館の見どころ

庄巻！小川国夫の「書斎」を復元。
文学館常設展では、小川国夫の他にも、藤枝静男、加藤まさる、村越化石など藤枝市ゆかりの作家の資料もご覧いただけます。

関連イベントスケジュール

●ふじえだ子ども歴史スタンプラリー
藤枝市文学館などの藤枝市内の歴史施設6か所を回るスタンプラリーです。クイズに答え、スタンプを集めると景品がもらえます。

するが文化の散歩道 スタンプラリー 2021

△ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のためお願い

- ・ご来場の際はマスクを着用し、こまめな手洗い、アルコールによる手指の消毒にご協力ください。
- ・下記に当てはまる場合は、ご来場を控えていただきますようお願いいたします。
 - 体調がすぐれない場合（発熱・咳・咽頭痛・味覚障害等の症状がある方）
 - 家庭や職場、学校など身近に新型コロナウイルス感染症の感染者もしくは感染の可能性がある方がいらっしゃる方
- ・新型コロナウイルス感染症拡大の状況によって、本イベント及び関連イベントが予告なく変更、中止になる場合や該当施設が臨時休館する場合があります。



施設紹介

中叻助文学記念館

中叻助文学記念館は、中叻助が昭和 18（1943）年に東京から転地静養と疎開のために移り住んだ旧前田邸を「中叻助文学」の記念碑として位置づけ活用するため、中叻助の生誕 110 年目（没後 30 年目）にあたる平成 7（1995）年に「中叻助文学記念館」として開館しました。中叻助直筆の原稿、書籍、遺品を展示しながら、貸室（無料）も実施。中叻助顕彰の場、文化交流の場として、広く親しまれています。

- 時 10:00～17:00
- 休 月曜日（祝日の場合は翌日）
祝日の翌日（土・日の場合を除く）
年末年始（12月26日～1月5日）
- 入 無料
- 住 静岡市葵区新聞 1089-120



- しずてつジャストライン 叢科線（約 25 分）
JR 静岡駅北口 3 番のりばまたは、「新静岡」2 番のりばから、「見性寺入口」下車、徒歩 4 分。
駐車場 4 台有り。
- ☎ 054-277-2970



静岡市立芹沢銈介美術館

静岡市立芹沢銈介美術館は、染色家・芹沢銈介より、郷里の静岡市に作品約 600 点と世界の工芸品約 4,500 点が寄贈されたのを機に、昭和 56（1981）年 6 月に開館しました。芹沢の染色作品には、のれん、屏風、着物、帯、絵本、カレンダー、うちわなどがあり、日々の暮らしを彩る品々を広範囲に手がけています。芹沢銈介の色彩豊かな作品と、明るく楽しいコレクションの数々をご覧ください。



- 時 9:00～16:30
- 休 月曜日（祝日の場合は翌日）、
祝日の翌日、年末年始、展示替期間中
- 入 一般 420 円 / 高校生・大学生 260 円
小学生・中学生 100 円 / 未就学児無料（団体割引は 30 名以上でご利用いただけます。）

- ※静岡市内在住 70 歳以上の方・小中学生（通学含む）無料
- ※障がい者手帳等の交付を受けている方とその同伴者 1 名は無料

- 住 静岡市駿河区登呂五丁目 10-5
- しずてつジャストライン（約 12 分）
JR 静岡駅南口 22 番のりばから「登呂遺跡」行き乗車、終点下車、徒歩 3 分。
登呂公園南側に有料駐車場有り。
- ☎ 054-282-5522



藤枝市郷土博物館・文学館

藤枝市文学館は、藤枝ゆかりの文学者・芸術家や文学作品・芸術作品に関する資料を収集・展示し情報発信するために平成 19（2007）年に開館しました。建物は藤枝市民の憩いの場である蓮華寺池公園内にあり、郷土博物館と接続しています。藤枝で執筆活動を終生続けた作家・小川国夫が日常の散歩道としてこよなく愛した蓮華寺池公園の自然の中で、藤枝の文学や郷土の歴史・文化を学ぶことができます。

- 時 9:00～17:00
- 休 月曜日、祝日の翌日、
11月29日～12月6日
年末年始（12月27日～1月4日）
- 入 高校生以上 200 円
（特別展入館料は別途）、中学生以下無料
- 住 藤枝市若王子 500



- しずてつジャストライン（約 10 分）
JR 藤枝駅北口 2 番のりばから
新静岡方面行乗車、
「蓮華寺池公園入口」下車 徒歩 10 分。
- ☎ 054-645-1100



焼津小泉八雲記念館

明治時代に来日し、焼津を愛した作家小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）の文学と焼津との関わりを後世に伝えるために、平成 19（2007）年にオープン。焼津関係資料を紹介した常設展示の他、年に 2 回の企画展示会や講演会、コンサートなども開催しています。また、館内併設の閲覧コーナーでは 800 冊余りの八雲文献を公開しており、読書や研究活動にも利用いただけます。



- 時 9:00～17:00
- 休 月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始
- 入 無料
- 住 焼津市三ヶ名 1550
- 焼津市自主運行バス（約 5 分）
JR 焼津駅南口 4 番のりばから、「文化センター前」下車。
- ☎ 054-620-0022



しずぶんツアーとは？

しず ぶん しず ぶん
静岡にゆかりの文化人ならびに静岡の文化をみなさんに知ってもらい、その魅力を紹介するツアー。
静岡の文化に親しみ、新たな静岡の魅力を見つけられるきっかけとなれば幸いです。